

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（1日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	阿波市教育委員会	代表者名	高田 稔
担当者部署	学校教育課	連絡先電話番号	0883-36-8741
担当者役職	学力向上推進コーディネータ	担当者氏名	坂東 栄治
住所	771-1695 徳島県阿波市市場町切幡字201-1		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	中川 斉史
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	一人一台の端末が導入されると授業ではどのような利用をしたらいいのかということについて最も知りたいことでした。また、どのような配慮が新たに必要になってくるのかということも知りたいことでした。これらのことについての確かな情報を丁寧にお話しくださり私たちの取り組む方向性を明示していただきました。これからは、全ての学校が研究指定校であるということも全くその通りだと確認できました。授業における効果的な利用方法は私たち自ら見つけていかねばならないということを確認することもできました。先進校や文部科学省の提示資料を参考にしながらも、現実に利用する教員と学習者双方が効果的な使い方を見出していくということが分かりました。
アドバイザーへの要望事項	今後活用方法について試行錯誤を重ねながら取り組んでいきたいと思いますが、課題や迷いも生じてくるものと思います。そんなときは相談に乗っていただけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2020年12月21日	15時00分	17時00分	10	110
	派遣形態	講演（オンライン）			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	阿波市小学校中学校教職員、保護者、教育委員	232 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	今までのパソコンの利用は、複数人で一台だったため、多くて1週間に数回の利用にとどまっていた。一人一台の端末が導入されると授業ではいつでも利用できることになるので、利用方法を変えていかなければならないと思います。効果的な学習のためには、どのような利用をしたらいいのかということについては、これからの課題だと思います。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	一人一台の端末の利用方法についてどのような利用方法があり、どのような効果が期待できるのかを考えていく糸口になるようなお話がいただけたらと思っています。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	今までの5、6人に1台の端末利用から1人1台での利用への意識の変革として①全国の学校が研究指定校であるということ②やらないという選択肢はないこと③教師主体での利用から学習者主体の利用へと変わることを示された。子供たちへ端末を配布するときに、学校長自らが何故1人1台の貸与をするのか。これからどのように使っていくのか。等について丁寧に説明されたとのこと。後半では、講師先生の学校での実践について各教科での効果的な活用事例をたくさん紹介していただいた。新しいテクノロジーの導入には、①わくわく導入2週間②やらかし導入3ヶ月③安定期導入3ヶ月以降がある。②のやらかし期をどう乗り切っていくかが大切であるとのこと教えていただいた。その他たくさんのご教示をいただいたので今後もご指導をお願いしたいという思いを強く抱いている。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	講演会1回のご指導でしたから、改善についてはこれから、まず意識の改革から始めようと思っています。そして1人1台配布に向けての準備として今年度末までの3ヶ月は、①新しい端末の機器としての扱い方の指導について②端末を学習のどのような場面でどのように利用できるのか。③利用できるソフトは教職員で使っていくことで慣れる。等に努めていきたいと思っています。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	<input type="checkbox"/> 途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容（具体的にご記入ください）	今後の取り組みから課題も見えてくるものと思います。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 会場（ホール）での研修とオンラインとの研修でどちらが良いかを問うと教職員の94.3%がオンラインが望ましい。その中内38%は、コロナが終息した後もオンラインが良いと答えた。中川先生の講演内容については、任意回答ではあったが88%の教職員が記入回答し、意義のある講演であった内容の記述があった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	<input checked="" type="checkbox"/> 予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	ICT機器の効果的利用とともに1人1台端末の効果的な利用に向けて全教職員が前進していける体制作りが全学校においてできるようになること。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

